

十勝教育局 主事 佐伯 くるみ 令和5年度採用(教育行政A)

○主な経歴
R5.4 十勝教育局



ー北海道の教育行政を選んだ理由ー

大学では保育、幼児教育を専攻していましたが、実習を重ねる中で目の前の子どもだけではなく、幅広い年齢の子どもたちの力になりたいという思いが強くなり、陰ながら北海道の子どもたちの学びを支えられる教育行政の道を選択しました。

ー担当業務とそのやりがいー

管内の小中学校教職員の任用や給与、社会保険に係る事務を行っています。教職員の給料等に直接関係する仕事であるため、責任が大きく難しい業務ですが、子どもたちと向き合い日々現場で活躍されている方々の支えとなっていると考えるととてもやりがいのある仕事だと感じます。

ー所属の雰囲気（はたらきやすさ）ー

難しい業務でも、解決に向けて上司や先輩方が一緒に考えてくださるため、一人で抱え込まずに最後まで取り組むことができる環境だと感じています。職員同士のコミュニケーションも多く、働きやすい良い雰囲気の職場です。

ー余暇の過ごし方ー

退職後や休日は、振興局内の友人たちと十勝のご飯や温泉を楽しんでいます。職場の先輩方とはドライブやバドミントンなどをさせていただき、一人暮らしでも地域の魅力を感じながら充実した休みを過ごしています。

ー働く前のイメージと実際に働いて感じたことー

事務の仕事は単純な作業が主であると思っていましたが、実際には複雑でよく考えることが求められる内容もあり、学びが多く、成長できる仕事だと感じています。

ー採用試験に向けて取り組んだことー

筆記試験に向けては、教材の問題を繰り返し解き、パターンを頭に入れるようにしました。面接対策としては、自己分析を行い、自分の強みを理解することから始めました。キャリア支援やハローワークの方々、大学の先生と練習を行い、回数を重ねて面接の場に慣れるよう心掛けました。

ーこれから教育行政区分の試験を受験する方・採用予定者へのエールー

教育行政の業務は幅広く、様々なことを経験できる、なにより子どもたちの学びを支える魅力的な仕事です。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。